

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

岡山大学大学院教育学研究科 学校教育学専攻（修士課程）

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 企画係長・近<sup>コン</sup>藤<sup>ドウ</sup>一彦<sup>カズ ヒコ</sup>

電話番号 086-251-8416

（夜間） 086-251-8416

F A X 086-251-7294

e-mail kondou-k@adm.okayama-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	9
4	教員組織の状況	11
5	その他全般的事項	12

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 学校教育学専攻(修士課程) 修士(教育学)	2 年	6 人	12 人	基礎となる学部名等  教育学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人		
A 入学定員	( - ) 6	( - ) 6	1.16 倍		
志願者数	( 0 ) 10	( 2 ) 23			
受験者数	( 0 ) 9	( 2 ) 21			
合格者数	( 0 ) 6	( 1 ) 10			
B 入学者数	( 0 ) 6	( 1 ) 8			
入学定員超過率 B/A	( - ) 1.00	( - ) 1.33			

(注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ 2 ] 6	[ 3 ] 8	平成21年度2年次生7人には, 発達支援学専攻からの転専攻者1名を含む	
2年次	[ - ] -	[ 2 ] 7		
計	[ 2 ] 6	[ 5 ] 15		

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 2 ] 6	[ 0 %] 0%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 6人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 5 ] 14	[ 0 %] 0%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 6人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 8人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

＜教育学研究科 学校教育学専攻＞

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	学校教育の理念と今日的課題	1前 2前	2			3 2	1					教育内容充実のため、 H20.4.1教員を追加(21)
専門基礎科目	学校教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	1前 2前	2			2	1	1				教育内容充実のため、 H20.4.1教員を追加(21)
	学校教育研究特論Ⅱ(教育心理学方法論)	1前 2前		2			1	1				
	学校教育研究特論Ⅱ(教育学方法論)	1前 2前		2			1					
	学校教育研究特論Ⅲ(教育心理学)	1前 2前		2		2	1	1				教育内容充実のため、 H20.4.1教員を追加(21)
	学校教育研究特論Ⅲ(教育学)	1前 2前		2		2		1				
	学校教育研究特論Ⅳ(実践研究)	1後 2後	2						1			
	教育哲学特論Ⅰ	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教育哲学特論Ⅱ	1前 2前		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教育哲学特論演習	1後 2後		2		1						
	日本教育史特論Ⅰ	1前 2前		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	日本教育史特論Ⅱ	未開講 1→2		2		1						
	日本教育史特論演習	1後 2後		2		1						
	西洋教育史特論Ⅰ	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	西洋教育史特論Ⅱ	1前 2前		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	西洋教育史特論演習	1後 2後		2								
	国際理解教育特論Ⅰ	未開講 1→2		2				1				時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	国際理解教育特論Ⅱ	1前 2前		2				1				時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	国際理解教育特論演習	1後 2後		2				1				
	学習心理学特論Ⅰ	1前 2前		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	学習心理学特論Ⅱ	未開講 1→2		2								
	学習心理学特論演習	1後 2後		2								
	教育臨床心理学特論	1前 2前		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	生徒指導特論	未開講 1→2		2		1						
	生徒指導特論演習	1後 2後		2		1						
	教育評価法特論Ⅰ	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	教育評価法特論Ⅱ	1前 2前		2			1					
	教育評価法特論演習	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	児童心理学特論Ⅰ	未開講 1→2		2				1				時間割編成上の都合により H21年度は未開講 H20.4.1講師採用(21)
	児童心理学特論Ⅱ	1前 2前		2					1			H20.4.1講師採用(21)
	児童心理学特論演習	未開講 1→2		2					1			履修登録者なしのため未開講 H20.4.1講師採用(21)
	青年心理学特論Ⅰ	1前 2前		2		1						
	青年心理学特論Ⅱ	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	青年心理学特論演習	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	進路指導特論	未開講 1→2		2								履修登録者なしのため未開講 (21)
	学校カウンセリング特論Ⅰ	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	学校カウンセリング特論Ⅱ	1後 2後		2								
	教育制度特論Ⅰ	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教育制度特論Ⅱ	1前 2前		2								
	教育制度特論演習	1後 2後		2								
	教育制度特論Ⅲ	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教育制度特論Ⅳ	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	社会教育学特論Ⅰ	1前 2前		2								
	社会教育学特論Ⅱ	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	社会教育学特論演習	1後 2後		2								
	教育社会学特論Ⅰ	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教育社会学特論Ⅱ	1前 2前		2			1					
	教育社会学特論演習	1後 2後		2			1					
	教育方法学特論Ⅰ	1前 2前		2					1			
	教育方法学特論Ⅱ	未開講 1→2		2						1		時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
教育方法学特論演習	1後 2後		2						1			
授業実践研究特論	1前 2前		2									
授業実践研究特論演習	1後 2後		2									
道徳教育特論	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)	
課題研究	課題研究	1通 2通	4			4	2 3	3 2			准教授採用予定のところ H20.4.1講師を採用したため (21)	

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 51	科目	科目 55	科目	科目	科目	科目	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	教育哲学特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
2	日本教育史特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
3	西洋教育史特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
4	国際理解教育特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
5	学習心理学特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
6	生徒指導特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
7	教育評価法特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
8	教育評価法特論演習	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
9	児童心理学特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
10	児童心理学特論演習	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
11	青年心理学特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
12	青年心理学特論演習	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
13	進路指導特論	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
14	学校カウンセリング特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
15	教育制度特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
16	教育制度特論Ⅲ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
17	教育制度特論Ⅳ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
18	社会教育学特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
19	教育社会学特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
20	教育方法学特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
21	道徳教育特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2	該当科目なし					
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講授業科目は全て選択科目であり，他の選択科目で代替可能である。  
 履修登録者がなかったため未開講となった科目については，今後履修希望者がある場合は開講が可能であり，問題はない。また，時間割編成上の都合により平成21年度開講しない科目については，隔年開講等により学生の履修機会を確保しているほか，平成21年度中も履修希望者がある場合には開講可能であるため，問題はない。  
 なお，上記科目を未開講としたことについては，平成21年度シラバスにより学生に周知済みである。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{21}{55} = 0.38 \quad (21)$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 員 年次 人	収定 容員 人	学位又 は称号	定員 超過率 倍	開 設 年 度	所 在 地	
文学部					学士(文学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.07	平成16年度		
歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
教育学部					学士(教育学)	1.08		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1000	学士(学術)	1.09	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.04	昭和53年度		
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度		平成18年度から学生募集停止
法学部					学士(法学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.20	平成16年度		
法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部					学士(経済学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.07	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.14	平成16年度		
経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
理学部					学士(理学)	1.15		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.26	昭和24年度		
物理学科	4	35	—	140		1.14	昭和24年度		
化学科	4	30	—	120		1.18	昭和24年度		
生物学科	4	30	—	120		1.15	昭和24年度		
地球科学科	4	25	—	100		1.18	平成7年度		
			3年次20	40		0.92			
医学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	105	—	580	学士(医学)	1.00	昭和24年度		平成21年度から定員増 95→105
			3年次5	20	学士(看護学)	1.15			平成13年度から編入の学生募集
保健学科	4				学士(保健学)				学生募集は平成11年度から
看護学専攻		80	—	320	学士(学術)	1.04	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)
			3年次10	20		0.85			
放射線技術科学専攻		40	—	160		1.07	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			
検査技術科学専攻		40	—	160		1.04	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
歯学部 歯学科	6	55	— 3年次5	330 20	学士(歯学)	1.01 1.00	昭和55年度	岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
薬学部 薬学科 創薬科学科 総合薬学科	6 4 —	40 40 —	— — —	160 160 —	学士(薬学) 学士(創薬科学)	1.06 1.06 1.05 —	平成18年度 平成18年度 平成11年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	平成18年度から学生募集停止
工学部 機械工学科 物質応用化学科 電気電子工学科 情報工学科 生物機能工学科 システム工学科 通信ネットワーク工学科	4 4 4 4 4 4 4	80 60 60 60 80 80 40	— — — — — — —	320 240 240 240 320 320 160 60	学士(工学) 学士(学術)	1.09 1.10 1.08 1.17 1.04 1.05 1.10 1.17 1.16	昭和62年度 平成12年度 昭和62年度 昭和62年度 平成8年度 平成8年度 平成12年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	
環境理工学部 環境数理学科 環境デザイン工学科 環境管理工学科 環境物質工学科	4 4 4 4 4	20 50 40 40	— — — —	80 200 160 160	学士(環境理工学) 学士(学術)	1.14 1.17 1.18 1.12 1.11	平成6年度 平成6年度 平成6年度 平成6年度	岡山市北区津島中三丁目1番1号	学生募集は平成7年度から
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学) 学士(学術)	1.14	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

- 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
- 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
- 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学研究科 学校教育学専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備 考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助 手	
5	4	9	0	4	5	9	0	22.4.1研究指導 教員1人を補充予 定であり、問題 はない
( 4 )	( 5 )	( 9 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。

(記入例：1名減の場合：△1)

## 5 その他全般的事項

<教育学研究科 学校教育学専攻>

情報提供に関する事項

### ① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 4月 15日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai_j.html#6)

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 7月 17日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai_j.html#6)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

岡山大学大学院教育学研究科 発達支援学専攻（修士課程）

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 企画係長・近<sup>コン</sup>藤<sup>ドウ</sup>一彦<sup>カズ ヒコ</sup>

電話番号 086-251-8416

（夜間） 086-251-8416

F A X 086-251-7294

e-mail kondou-k@adm.okayama-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 発達支援学専攻(修士課程) 修士(教育学)	2 年	9 人	18 人	基礎となる学部名等  教育学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員		( - ) 9 人	( - ) 9 人	0.88 倍	
志願者数		( 1 ) 8	( 3 ) 16		
受験者数		( 1 ) 8	( 3 ) 15		
合格者数		( 1 ) 8	( 3 ) 11		
B 入学者数		( 0 ) 7	( 1 ) 9		
入学定員超過率 B/A		( - ) 0.77	( - ) 1.00		

(注) 1 ( ) 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次		[ 0 ] 7	[ 0 ] 10	H21年度 学校教育学専攻へ転専攻1人
2年次		[ - ] -	[ 0 ] 4	
計		[ 0 ] 7	[ 0 ] 14	

(注) 1 [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 1	計 [ 0 ] 7	[ 0% ] 14.3%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 7人	
	(主な退学理由) 就職のため		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 16	[ 0% ] 0%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 7人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 9人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

＜教育学研究科 発達支援学専攻＞

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	学校教育の理念と今日的課題	1前 2前	2			2	2					
専門基礎科目	発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学)	1前 2前	2			3	1	+				H21.4.1講師 → 准教授昇任(21)
	発達支援研究特論Ⅱ(発達支援の方法論)	1後 2後	2			1 4		+				教育上支障がないため、20年度から担当教員数変更(21)
	発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学)	1前 2前	2				1					
	発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学)	1前 2前	2			2						
	発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究)	1後 2後	2			3	2 +	+				H21.4.1講師 → 准教授昇任(21)
	発達支援研究特論Ⅲ(特別支援教育学)	1前 2前	2				1					
	発達支援研究特論Ⅳ(特別支援実践学)	1前 2前	2				1					
	発達支援研究特論Ⅴ(特別支援教育実践研究)	1前 2前	2			3	2					
	発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学)	1前 2前	2			1	+	1				H20.7.31准教授退職 H21.4.1講師採用(21)
	発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学)	1前 2前	2			1	2					
発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究)	1前 2前	2			1	+					H20.7.31准教授退職のため教授1人での担当となったが教育上支障はない(21)	
幼児教育コース	保育内容特論(音楽表現)	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	保育内容特論演習(音楽表現)	未開講 1→2		2								履修登録者なしのため未開講(21)
	保育内容特論(造形表現)	1後 2後		2		1						
	保育内容特論演習(造形表現)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	保育内容特論(健康)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	保育内容特論演習(健康)	1後 2後		2		1						
	幼児教育学特論	1後 2後		2		1	1					
	幼児教育学特論演習	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	幼児心理学特論	未開講 1→2		2			1	+				H21.4.1講師 → 准教授昇任 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	幼児心理学特論演習	1前 2前		2			1	+				H21.4.1講師 → 准教授昇任 (21)
	特別支援教育学演習	1後 2後		2			1					
	特別支援実践学演習	1後 2後		2			1					
	特別支援実践研究方法特論	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	特別支援授業論特論	1後 2後		2								
	特別支援教育指導方法特論Ⅰ 特別支援教育指導方法特論	未開講 1→2		2								21年度より科目名称変更 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	特別支援教育指導方法特論Ⅱ	未開講 1→2		2								教育内容充実のため、21年 度より科目追加 履修登録者なしのため未開 講(21)
	特別支援心理学特論	1前 2前		2			1					
	特別支援心理学演習	1後 2後		2			1					
	特別支援病理学特論	1前 2前		2			1					
	特別支援病理学演習	1後 2後		2			1					
	特別支援教育臨床特論	1前 2前		2			1					
	特別支援教育総合演習	1通 2通		4			3	2				
発達支援研究特論ⅣⅥ (特別支援教育実践研究)	1後 2後		2			3	2				誤記のため訂正(21)	
養護教育コース	養護実践学特論(養護教諭論)	1後 2後		2			+	1				H20.7.31准教授退職 H21.4.1講師採用(21)
	養護実践学特論演習(養護教諭論)	未開講 1→2		2			+	1				H20.7.31准教授退職 H21.4.1講師採用 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	養護実践学特論(養護実践論)	1後 2後		2								
	養護実践学特論演習(養護実践論)	1後 2後		2								
	養護実践学特論(学校保健学)	1後 2後		2			1					
	養護実践学特論演習(学校保健学)	未開講 1→2		2			1					履修登録者なしのため未開 講(21)
	養護実践学特論(保健教育)	未開講 1→2		2			1	+				教育内容充実のため、20年 度から担当教員を教授に変更 履修登録者なしのため未開 講(21)
	学校保健医科学特論(健康科学)	1前 2前		2			1					
	学校保健医科学特論演習(健康科学)	1後 2後		2			1					
	学校保健医科学特論(環境と健康)	1後 2後		2			1					
学校保健医科学特論演習(環境と健康)	1後 2後		2			1						
学校保健医科学特論(小児保健)	1後 2後		2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
	学校保健医科学特論演習(小児保健)	1後 2後		2			1					
	学校保健医科学特論(学校看護学)	1前 2前		2			1					
	学校保健医科学特論演習(学校看護学)	1後 2後		2			1					
課題 研究	課題研究	1通 2通	4			10 9	6 7	1				平成20年度～平成21年度 人事異動による(21)

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 13	科目 37	科目	科目 50	科目 13	科目 38	科目	科目 51	1増

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	保育内容特論(音楽表現)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
2	保育内容特論演習(音楽表現)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
3	保育内容特論演習(造形表現)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
4	保育内容特論(健康)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
5	幼児教育学特論演習	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
6	幼児心理学特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
7	特別支援実践研究方法特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
8	特別支援教育指導方法特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
9	特別支援教育指導方法特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
10	養護実践学特論演習(養護教諭論)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
11	養護実践学特論演習(学校保健学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
12	養護実践学特論(保健教育)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	該当科目なし					
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講授業科目は全て選択科目であり, 他の選択科目で代替可能である。  
 履修登録者がなかったため未開講となった科目については, 今後履修希望者がある場合は開講が可能であり, 問題はない。また, 時間割編成上の都合により平成21年度開講しない科目については, 隔年開講等により学生の履修機会を確保しているほか, 平成21年度中も履修希望者がある場合には開講可能であるため, 問題はない。  
 なお, 上記科目を未開講としたことについては, 平成21年度シラバスにより学生に周知済みである。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{12}{50} = 0.24 \quad (21)$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は, 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は, 未開講である場合や, 配当年次に関わらず, 教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など, 別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに, [ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)  
 3 「(3) 未開講科目」は, 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は, 設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には, 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 員 年次 人	収定 容員 人	学位又 は称号	定員 超過率 倍	開設 年度	所在地	
文学部					学士(文学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.07	平成16年度		
歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
教育学部					学士(教育学)	1.08		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1000	学士(学術)	1.09	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.04	昭和53年度		
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度		平成18年度から学生募集停止
法学部					学士(法学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.20	平成16年度		
法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部					学士(経済学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.07	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.14	平成16年度		
経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
理学部					学士(理学)	1.15		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.26	昭和24年度		
物理学科	4	35	—	140		1.14	昭和24年度		
化学科	4	30	—	120		1.18	昭和24年度		
生物学科	4	30	—	120		1.15	昭和24年度		
地球科学科	4	25	—	100		1.18	平成7年度		
			3年次20	40		0.92			
医学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	105	—	580	学士(医学)	1.00	昭和24年度		平成21年度から定員増 95→105
			3年次5	20	学士(看護学)	1.15			平成13年度から編入の学生募集
保健学科	4				学士(保健学)				学生募集は平成11年度から
看護学専攻		80	—	320	学士(学術)	1.04	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)
			3年次10	20		0.85			
放射線技術科学専攻		40	—	160		1.07	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			
検査技術科学専攻		40	—	160		1.04	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
歯学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	55	— 3年次5	330 20	学士(歯学)	1.01 1.00	昭和55年度		
薬学部					学士(薬学)	1.06		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	160	学士(創薬科学)	1.06	平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.05	平成18年度		
総合薬学科	—	—	—	—		—	平成11年度		平成18年度から学生募集停止
工学部					学士(工学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械工学科	4	80	—	320	学士(学術)	1.10	昭和62年度		
物質応用化学科	4	60	—	240		1.08	平成12年度		
電気電子工学科	4	60	—	240		1.17	昭和62年度		
情報工学科	4	60	—	240		1.04	昭和62年度		
生物機能工学科	4	80	—	320		1.05	平成8年度		
システム工学科	4	80	—	320		1.10	平成8年度		
通信ネットワーク工学科	4	40	— 3年次30	160 60		1.17 1.16	平成12年度		
環境理工学部					学士(環境理工学)	1.14		岡山市北区津島中三丁目1番1号	学生募集は平成7年度から
環境数理学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.17	平成6年度		
環境デザイン工学科	4	50	—	200		1.18	平成6年度		
環境管理工学科	4	40	—	160		1.12	平成6年度		
環境物質工学科	4	40	—	160		1.11	平成6年度		
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学) 学士(学術)	1.14	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学研究科 発達支援学専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
13	4	17	0	14	3	17	0	
( 14 )	( 3 )	( 17 )	( 0 )	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。  
(記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

<教育学研究科 発達支援学専攻>

情報提供に関する事項

### ① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 4月 15日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/iohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/iohokoukai_j.html#6)

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 7月 17日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/iohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/iohokoukai_j.html#6)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

岡山大学大学院教育学研究科 教科教育学専攻（修士課程）

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 企画係長・近<sup>コン</sup>藤<sup>ドウ</sup>一彦<sup>カズ ヒコ</sup>

電話番号 086-251-8416

（夜間） 086-251-8416

F A X 086-251-7294

e-mail kondou-k@adm.okayama-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	17
4	教員組織の状況	19
5	その他全般的事項	20

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号

(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教科教育学専攻(修士課程) 修士(教育学)	2年	47人	94人	基礎となる学部名等  教育学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人		
A 入学定員	( - ) 47	( - ) 47	1.06		
志願者数	( 8 ) 81	( 5 ) 78			
受験者数	( 7 ) 78	( 5 ) 75			
合格者数	( 6 ) 57	( 3 ) 50			
B 入学者数	( 5 ) 52	( 2 ) 48			
入学定員超過率 B/A	( - ) 1.10	( - ) 1.02			

(注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ 9 ] 52	[ 10 ] 49	平成21年度1年次生49人には, 平成20年10月受入れの留学生1人を含む (1年次後期在学中)	
2年次	[ - ] -	[ 6 ] 51		
計	[ 9 ] 52	[ 16 ] 100		

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 1	計 [ 9 ] 52	[ 0% ] 1.9%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 52人	
	(主な退学理由) 進路再考		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 16 ] 100	[ 0% ] 0%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 52人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 48人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

＜教育学研究科 教科教育学専攻＞

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基礎科目	学校教育の理念と今日的課題	1前 2前	2			5 <del>6</del>	4 <del>3</del>				H21.1.31教授退職により、21年度から准教授が担当(21)
共通コース	教育研究特論Ⅰ(基礎理論)	1前 2前	2			5 <del>6</del>	3	1			H21.3.31教授退職(21)
	国語教育コース	教育研究特論Ⅱ(国語) 教育研究特論Ⅲ(国語) 教育研究特論Ⅳ(国語) 教育研究特論Ⅴ(国語)	1前 2前 1前 2前 1前 2前 1後 2後	2 2 2 2			1 1 3 <del>2</del> 2	2			H20.4.1准教授採用 H21.4.1准教授 → 教授昇任(21)
社会科教育コース	教育研究特論Ⅱ(社会)	1前 2前	2			1 <del>1</del>	1				H21.3.31教授退職により21年度から准教授が担当(21)
	教育研究特論Ⅲ(社会)	1後 2後	2			1 <del>1</del>	1				H21.3.31教授退職により21年度から准教授(H21.4.1採用)が担当(21)
	教育研究特論Ⅳ(社会)	1前 2前	2			6	2 <del>3</del>				H21.3.31教授退職 H21.4.1准教授 → 教授昇任(21)
	教育研究特論Ⅴ(社会)	1後 2後	2			1 <del>1</del>	1				教育上支障がないため、20年度から担当教員数変更(21)
数学教育コース	教育研究特論Ⅱ(数学)	1前 2前	2				1				
	教育研究特論Ⅲ(数学)	1前 2前	2				1				H20.4.1准教授採用(21)
	教育研究特論Ⅳ(数学)	1前 2前	2			2 <del>1</del>	1 <del>2</del>				H21.1.1准教授 → 教授昇任(21)
	教育研究特論Ⅴ(数学)	1後 2後	2				1				
理科教育コース	教育研究特論Ⅱ(理科)	1前 2前	2			5	4 <del>5</del>				H21.3.31准教授退職(21)
	教育研究特論Ⅲ(理科)	1前 2前	2			5	2 <del>5</del>				教育上支障がないため、20年度から担当教員数変更 H21.3.31准教授退職(21)
	教育研究特論Ⅳ(理科)	1前 2前	2			5	2 <del>5</del>				教育上支障がないため、20年度から担当教員数変更 H21.3.31准教授退職(21)
	教育研究特論Ⅴ(理科)	1後 2後	2			5	2 <del>5</del>				教育上支障がないため、20年度から担当教員数変更 H21.3.31准教授退職(21)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	音楽教育コース	教育研究特論Ⅱ(音楽)	1前 2前	2					1			
		教育研究特論Ⅲ(音楽)	1前 2前	2			1					
		教育研究特論Ⅳ(音楽)	1前 2前	2			3	1	1			H20.4.1講師採用(21)
		教育研究特論Ⅴ(音楽)	1後 2後	2			1		1			
	美術教育コース	教育研究特論Ⅱ(美術)	1前 2前	2				1				
		教育研究特論Ⅲ(美術)	1前 2前	2			1					
		教育研究特論Ⅳ(美術)	1前 2前	2			4	+				内地研究員のため、准教授1名が21年度非担当(21)
		教育研究特論Ⅴ(美術)	1後 2後	2			+	1				H21.3.31教授退職(21)
	保健体育コース	教育研究特論Ⅱ(保健体育)	1前 2前	2								
		教育研究特論Ⅲ(保健体育)	1後 2後	2								
		教育研究特論Ⅳ(保健体育)	1前 2前	2			+			1		H21.4.1助教採用により21年度から担当教員変更(21)
		教育研究特論Ⅴ(保健体育)	1後 2後	2				1				教育内容充実のため20年度から専任教員が担当(21)
	技術教育コース	教育研究特論Ⅱ(技術)	1前 2前	2			1 2	2				H21.3.31教授退職(21)
		教育研究特論Ⅲ(技術)	1前 2前	2			1 2					H21.1.31教授退職のため教授1人と兼任教員が担当(21)
		教育研究特論Ⅳ(技術)	1前 2前	2			1 2	2				H21.3.31教授退職(21)
		教育研究特論Ⅴ(技術)	1後 2後	2			1 2					H21.1.31教授退職のため教授1人と兼任教員が担当(21)
	家政教育コース	教育研究特論Ⅱ(家庭)	1前 2前	2			1					
		教育研究特論Ⅲ(家庭)	1後 2後	2			1					
		教育研究特論Ⅳ(家庭)	1前 2前	2			2	1	1			
		教育研究特論Ⅴ(家庭)	1前 2前	2			2					
英語教育コース	教育研究特論Ⅱ(英語)	1前 2前	2			3	3	1			20年度より講師に担当命 H21.1.1准教授 → 教授昇任 H21.3.31教授退職 21年度より准教授に担当命(21)	
	教育研究特論Ⅲ(英語)	1前 2前	2			1						
	教育研究特論Ⅳ(英語)	1後 2後	2			2	2 3				H21.1.1准教授 → 教授昇任 H21.3.31教授退職(21)	
	教育研究特論Ⅴ(英語)	1後 2後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
国語教育コース	国語科教育学研究Ⅰ	1後 2後		2		1						
	国語科教育学研究Ⅱ	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	国語科教育学研究Ⅲ	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	国語科教育学研究Ⅳ	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(国語学)	1後 2後		2		1	+					H21.4.1准教授 → 教授昇任 (21)
	教科内容特論Ⅱ(国語学)	未開講 1→2		2		1	+					H21.4.1准教授 → 教授昇任 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅲ(国語学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅳ(国語学)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(近代文学)	1前 2前		2			1					
	教科内容特論Ⅱ(近代文学)	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(古典文学)	1後 2後		2			1					H20.4.1准教授採用(21)
	教科内容特論Ⅱ(古典文学)	未開講 1→2		2			1					H20.4.1准教授採用 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(漢文学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(漢文学)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(書写・書道)	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(書写・書道)	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	社会科教育学研究Ⅰ	1前 2前		2		+	1					H21.3.31教授退職により21 年度から准教授が担当(21)
	社会科教育学研究Ⅰ演習	1後 2後		2		+	1					H21.3.31教授退職により21 年度から准教授が担当(21)
	社会科教育学研究Ⅱ	1前 2前		2			1					
	社会科教育学研究Ⅱ演習	1後 2後		2			1					
	社会科教育学研究Ⅲ	1前 2前		2		1						
	社会科教育学研究Ⅲ演習	未開講 1→2		2		1						履修登録者なしのため未開 講(21)
	教科内容特論Ⅰ(日本史)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅰ演習(日本史)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(日本史)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅱ演習(日本史)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(世界史)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅰ演習(世界史)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(世界史)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅱ演習(世界史)	1後 2後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
社会科学教育コース	教科内容特論Ⅰ(人文地理学)	1前		2			1					
	教科内容特論Ⅰ演習(人文地理学)	1前		2			1					
	教科内容特論Ⅱ(人文地理学)	1後		2			1					
	教科内容特論Ⅱ演習(人文地理学)	1後		2			1					
	教科内容特論Ⅰ(自然地理学)	1前		2		1	+					H21.4.1准教授→教授昇任(21)
	教科内容特論Ⅰ演習(自然地理学)	1前		2		1	+					H21.4.1准教授→教授昇任(21)
	教科内容特論Ⅱ(自然地理学)	1後		2		1	+					H21.4.1准教授→教授昇任(21)
	教科内容特論Ⅱ演習(自然地理学)	1後		2		1	+					H21.4.1准教授→教授昇任(21)
	教科内容特論Ⅰ(政治学)	1前		2			1					
	教科内容特論Ⅰ演習(政治学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(政治学)	1後		2			1					
	教科内容特論Ⅱ演習(政治学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(法学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ演習(法学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(法学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ演習(法学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(経済学)	1前		2			1					
	教科内容特論Ⅰ演習(経済学)	1前		2			1					
	教科内容特論Ⅱ(経済学)	1後		2			1					
	教科内容特論Ⅱ演習(経済学)	1後		2			1					
	教科内容特論Ⅰ(社会学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ演習(社会学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(社会学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ演習(社会学)	未開講 1+2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(倫理学)	未開講 1+2		2				1				履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ演習(倫理学)	未開講 1+2		2				1				時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(倫理学)	未開講 1+2		2				1				履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ演習(倫理学)	未開講 1+2		2				1				時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
数学科教育学研究Ⅰ		1後		2			1				H20.4.1准教授採用(21)	
数学科教育学研究Ⅱ		1後		2			1				H20.4.1准教授採用(21)	
数学科教育学研究Ⅲ		1後		2			1					
教科内容特論Ⅰ(代数学)		1前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
数学教育コース	教科内容特論Ⅱ(代数学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(代数学)	1前 2前		2		1	+					H21.1.1准教授 → 教授昇任(21)
	教科内容特論Ⅳ(代数学)	1後 2後		2		1	+					誤記のため訂正 H21.1.1准教授 → 教授昇任(21)
	教科内容特論Ⅰ(幾何学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(幾何学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(解析学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(解析学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(解析学)	1前 2前		2			1					
	教科内容特論Ⅳ(解析学)	1後 2後		2			1					
	数学特別演習A	1前 2前		2		1						
	数学特別演習B	1後 2後		2		1	+					H21.1.1准教授 → 教授昇任(21)
	数学特別演習C	未開講 1+2		2		1						履修登録者なしのため未開講(21)
	数学特別演習D	1前 2前		2		1						
	数学特別演習E	1後 2後		2			1					
	理科教育コース	初等理科教育学研究Ⅰ	1前 2前		2		1	+				
初等理科教育学研究Ⅱ		1後 2後		2		1	+					教育上支障がないため、20年度から担当教員数変更 H21.3.31准教授退職 H21.4.1教授採用(21)
初等理科教育学研究演習		未開講 1+2		2		1	+					H21.3.31准教授退職により 21年度から教授が担当 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
中等理科教育学研究Ⅰ		1前 2前		2		1						
中等理科教育学研究Ⅱ		1後 2後		2		1						
中等理科教育学研究演習		未開講 1+2		2		2						履修登録者なしのため未開講(21)
教科内容特論(物性物理学)		未開講 1+2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
教科内容特論(物性物理学実験法)		1前 2前		2			1					
教科内容特論演習(物性物理学実験法)		1通 2通		2			1					
教科内容特論Ⅰ(現代物理学)		1前 2前		2		1						
教科内容特論Ⅱ(現代物理学)		1前 2前		2		1						
教科内容特論演習(現代物理学)		1通 2通		2		1						
教科内容特論(有機化学)		1後 2後		2			1					
教科内容特論演習(有機化学)		1通 2通		2			1					
教科内容特論(生物化学)		未開講 1+2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教科内容特論(無機化学)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論演習(無機化学)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論(物理化学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論演習(物理化学)	1通 2通		2		1						
	教科内容特論(動物学)	1後 2後		2			1					
	教科内容特論(細胞生物学)	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論演習(生命科学)	1通 2通		2			1					
	教科内容特論(遺伝学)	未開講 1→2		2		1						履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論(植物学)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論演習(植物学)	未開講 1→2		2		1						履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論(固体地球科学)	1後 2後		2					1			H20.4.1講師採用(21)
	教科内容特論演習(固体地球科学)	未開講 1→2		2					1			H20.4.1講師採用 履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論(流体地球科学)	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論演習(流体地球科学)	1通 2通		2			1					
	教科内容特論(地球惑星環境科学)	1後 2後		2			1					
専門科目	音楽教育コース	音楽科教育学研究 I	1後 2後		2		1					
		音楽科教育学研究 II	未開講 1→2		2		1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
		音楽科教育学研究 III	1後 2後		2				1			
		音楽科教育学研究 IV	未開講 1→2		2				1			時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
		教科内容特論 I (声楽)	1後 2後		2		1					
		教科内容特論 II (声楽)	未開講 1→2		2		1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
		教科内容特論 I (器楽)	1前 2前		2			1				誤記のため訂正(21)
		教科内容特論 II (器楽)	未開講 1→2		2			1				時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
		教科内容特論 III (器楽)	未開講 1→2		2					1		H20.4.1講師採用 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
		教科内容特論 IV (器楽)	1後 2後		2					1		H20.4.1講師採用(21)
		教科内容特論 I (音楽学)	1前 2前		2		1					
		教科内容特論 II (音楽学)	1後 2後		2		1					
		教科内容特論 I (作曲法)	1前 2前		2		1					
		教科内容特論 II (作曲法)	未開講 1→2		2		1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
			美術科教育学研究 I	1後 2後		2			1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
美術教育コース	美術科教育学研究Ⅱ	未開講 1→2		2			1					時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	美術科教育学研究Ⅲ	1後 2後		2		1						
	美術科教育学研究Ⅳ	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(絵画)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(絵画)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(絵画)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅳ(絵画)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(彫刻)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(彫刻)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(彫刻)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅳ(彫刻)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(デザイン特論)	未開講 1→2		2								誤記のため訂正 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(デザイン特論)	1後 2後		2								誤記のため訂正(21)
	教科内容特論Ⅰ(木工)	未開講 1→2		2			1					担当教員が内地研究員派遣のため21年度未開講(22年度は開講するため問題はない)(21)
	教科内容特論Ⅱ(木工)	未開講 1→2		2			1					担当教員が内地研究員派遣のため21年度未開講(22年度は開講するため問題はない)(21)
	教科内容特論演習(木工)	未開講 1→2		2			1					担当教員が内地研究員派遣のため21年度未開講(22年度は開講するため問題はない)(21)
	教科内容特論Ⅰ(陶芸)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(陶芸)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論演習(陶芸)	未開講 1→2		2		1						時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論(美術理論・美術史)	未開講 1→2		2			+					当該分野を専門とする非常勤講師が得られたため、20年度から兼任教員の担当に変更 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	保健体育科教育学研究Ⅰ	1後 2後		2					1			H21.4.1助教採用(21)
	保健体育科教育学研究Ⅱ	未開講 1→2		2			1					教育内容充実のため20年度から専任教員が担当 時間割編成上の都合により H21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(体育学)	未開講 1→2		2		+						H21.3.31教授退職 → 担当教員未定のため21年度未開講(後任補充予定のため問題はない)(21)
	教科内容特論Ⅰ演習(体育学)	未開講 1→2		2		+						H21.3.31教授退職 → 担当教員未定のため21年度未開講(後任補充予定のため問題はない)(21)
	教科内容特論Ⅱ(体育学)	1前 2前		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
保健体育コース	教科内容特論Ⅱ演習(体育学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(体育学)	1前 2前		2			1					
	教科内容特論Ⅲ演習(体育学)	1後 2後		2			1					
	教科内容特論Ⅳ(体育学)	未開講 1→2		2			+					H20.9.30准教授退職 → 担当教員未定のため21年度未開講(後任補充予定のため問題はない)(21)
	教科内容特論Ⅳ演習(体育学)	未開講 1→2		2			+					H20.9.30准教授退職 → 担当教員未定のため21年度未開講(後任補充予定のため問題はない)(21)
	教科内容特論Ⅰ(運動学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅰ演習(運動学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(運動学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ演習(運動学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(運動学)	1前 2前		2								
	教科内容特論Ⅲ演習(運動学)	未開講 1→2		2								時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅳ(運動学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅳ演習(運動学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(学校保健学)	1前 2前		2				1				教育内容充実のため20年度から専任教員が担当(21)
	教科内容特論Ⅰ演習(学校保健学)	1後 2後		2				1				教育内容充実のため20年度から専任教員が担当(21)
	教科内容特論Ⅱ(学校保健学)	1後 2後		2				1				
教科内容特論Ⅱ演習(学校保健学)	1後 2後		2				1					
技術教育コース	技術科教育学研究Ⅰ	1前 2前		2			+					H21.1.31教授退職のため21年度から兼任教員が担当(21)
	技術科教育学研究Ⅱ	1後 2後		2			+					H21.1.31教授退職のため21年度から兼任教員が担当(21)
	技術科教育学研究Ⅲ	1前 2前		2		1						
	技術科教育学研究Ⅳ	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(機械)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(機械)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(電気)	1前 2前		2				1				
	教科内容特論Ⅱ(電気)	1後 2後		2				1				
	教科内容特論Ⅰ(情報)	1前 2前		2				1				
	教科内容特論Ⅱ(情報)	1後 2後		2				1				
教科内容特論Ⅰ(電気・情報)	未開講 1→2		2			+					H21.3.31教授退職 → 担当教員未定のため21年度未開講(後任補充予定のため問題はない)(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	教科内容特論Ⅱ(電気・情報)	未開講 1→2		2		+						H21.3.31教授退職 → 担当教員未定のため21年度未開講(後任補充予定のため問題はない)(21)
家政教育コース	家庭科教育学研究Ⅰ	1後 2後		2		1						
	家庭科教育学研究Ⅱ	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅰ(家庭経営学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(家庭経営学)	1後 2後		2			1					
	教科内容特論Ⅰ(家族関係学)	未開講 1→2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(家族関係学)	未開講 1→2		2			1					履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(食物科学)	未開講 1→2		2		1						履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(食物科学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(食物科学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅳ(食物科学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論実験(食物科学)	未開講 1→2		2		1						履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅰ(被服科学)	未開講 1→2		2				1				履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論Ⅱ(被服科学)	未開講 1→2		2				1				履修登録者なしのため未開講(21)
	教科内容特論実験(被服科学)	未開講 1→2		2				1				履修登録者なしのため未開講(21)
教科内容特論Ⅰ(住居学)	未開講 1→2		2		1						履修登録者なしのため未開講(21)	
教科内容特論Ⅱ(住居学)	1後 2後		2		1							
英語教育コース	英語科教育学研究Ⅰ	1後 2後		2		1						21年度より科目名称変更(21)
	英語科教育学研究Ⅱ	1後 2後		2				1				教育内容充実のため、21年度より科目追加(21)
	教科内容特論Ⅰ(英語学)	1前 2前		2		1						
	教科内容特論Ⅱ(英語学)	1後 2後		2		1						
	教科内容特論Ⅲ(英語学)	1前 2前		2			1					
	教科内容特論Ⅳ(英語学)	1後 2後		2			1					誤記のため訂正(21)
	教科内容特論Ⅰ(英語コミュニケーション)	1前 2前		2			1					教育内容充実のため、21年度より科目追加(21)
	教科内容特論Ⅱ(英語コミュニケーション)	未開講 1→2		2			1					教育内容充実のため、21年度より科目追加 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	教科内容特論Ⅴ(英語学)	1前 2前		2			+					新規授業科目の開講に伴い21年度より廃止(21)
	教科内容特論Ⅵ(英語学)	1後 2後		2			+					新規授業科目の開講に伴い21年度より廃止(21)
教科内容特論Ⅰ(英米文学)	1前 2前		2		1							
教科内容特論Ⅱ(英米文学)	1後 2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	教科内容特論Ⅲ(英米文学) 教科内容特論Ⅳ(英米文学)	1前 2前 1後 2後		2 2			1 1				
課題研究	課題研究	1通 2通	4			45 46	25 30	5 2	1		平成20年度～平成21年度 人事異動による(21)

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 43	科目 202	科目	科目 245	科目 43	科目 203	科目	科目 246	1増(新規3, 廃止2)

## (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国語科教育学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
2	国語科教育学研究Ⅲ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
3	教科内容特論Ⅱ(国語学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
4	教科内容特論Ⅳ(国語学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
5	教科内容特論Ⅱ(近代文学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
6	教科内容特論Ⅱ(古典文学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
7	教科内容特論Ⅱ(漢文学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
8	教科内容特論Ⅰ(書写・書道)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
9	教科内容特論Ⅱ(書写・書道)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
10	社会科教育学研究Ⅲ演習	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
11	教科内容特論Ⅰ演習(政治学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
12	教科内容特論Ⅱ演習(政治学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
13	教科内容特論Ⅰ(法学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
14	教科内容特論Ⅰ演習(法学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
15	教科内容特論Ⅱ(法学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
16	教科内容特論Ⅱ演習(法学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
17	教科内容特論Ⅰ(社会学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
18	教科内容特論Ⅰ演習(社会学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
19	教科内容特論Ⅱ(社会学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
20	教科内容特論Ⅱ演習(社会学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
21	教科内容特論Ⅰ(倫理学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
22	教科内容特論Ⅰ演習(倫理学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
23	教科内容特論Ⅱ(倫理学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
24	教科内容特論Ⅱ演習(倫理学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
25	数学特別演習C	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
26	初等理科教育学研究演習	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
27	中等理科教育学研究演習	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
28	教科内容特論(物性物理学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
29	教科内容特論(生物化学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
30	教科内容特論(無機化学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
31	教科内容特論演習(無機化学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
32	教科内容特論(細胞生物学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
33	教科内容特論(遺伝学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
34	教科内容特論(植物学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
35	教科内容特論演習(植物学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
36	教科内容特論演習(固体地球科学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
37	教科内容特論(流体地球科学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
38	音楽科教育学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
39	音楽科教育学研究Ⅳ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
40	教科内容特論Ⅱ(声楽)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
41	教科内容特論Ⅱ(器楽)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
42	教科内容特論Ⅲ(器楽)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
43	教科内容特論Ⅱ(作曲法)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
44	美術科教育学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
45	美術科教育学研究Ⅳ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
46	教科内容特論Ⅰ(絵画)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
47	教科内容特論Ⅲ(絵画)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
48	教科内容特論Ⅰ(彫刻)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
49	教科内容特論Ⅲ(彫刻)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
50	教科内容特論Ⅰ(デザイン)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
51	教科内容特論Ⅰ(木工)	2	1・2	専門	選択	担当教員が内地研究員派遣のため21年度未開講(22年度は開講するため問題はない)
52	教科内容特論Ⅱ(木工)	2	1・2	専門	選択	担当教員が内地研究員派遣のため21年度未開講(22年度は開講するため問題はない)
53	教科内容特論演習(木工)	2	1・2	専門	選択	担当教員が内地研究員派遣のため21年度未開講(22年度は開講するため問題はない)
54	教科内容特論Ⅰ(陶芸)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
55	教科内容特論演習(陶芸)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
56	教科内容特論(美術理論・美術史)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
57	保健体育科教育学研究Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
58	教科内容特論Ⅰ(体育学)	2	1・2	専門	選択	担当教員退職のため21年度は未開講(後任補充予定のため問題はない)
59	教科内容特論Ⅰ演習(体育学)	2	1・2	専門	選択	担当教員退職のため21年度は未開講(後任補充予定のため問題はない)
60	教科内容特論Ⅳ(体育学)	2	1・2	専門	選択	担当教員退職のため21年度は未開講(後任補充予定のため問題はない)
61	教科内容特論Ⅳ演習(体育学)	2	1・2	専門	選択	担当教員退職のため21年度は未開講(後任補充予定のため問題はない)
62	教科内容特論Ⅲ演習(運動学)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
63	教科内容特論Ⅰ(電気・情報)	2	1・2	専門	選択	担当教員退職のため21年度は未開講(後任補充予定のため問題はない)
64	教科内容特論Ⅱ(電気・情報)	2	1・2	専門	選択	担当教員退職のため21年度は未開講(後任補充予定のため問題はない)
65	教科内容特論Ⅰ(家族関係学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
66	教科内容特論Ⅱ(家族関係学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
67	教科内容特論Ⅰ(食物科学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
68	教科内容特論実験(食物科学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
69	教科内容特論Ⅰ(被服科学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
70	教科内容特論Ⅱ(被服科学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
71	教科内容特論実験(被服科学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
72	教科内容特論Ⅰ(住居学)	2	1・2	専門	選択	履修登録者なしのため未開講
73	教科内容特論Ⅱ(英語コミュニケーション)	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講

#### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教科内容特論Ⅴ(英語学)	2	1・2	専門	選択	新規授業科目の開講に伴う廃止のため
2	教科内容特論Ⅵ(英語学)	2	1・2	専門	選択	新規授業科目の開講に伴う廃止のため

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講授業科目は全て選択科目であり、他の選択科目で代替可能である。  
履修登録者がなかったため未開講となった科目については、今後履修希望者がある場合は開講が可能であり、問題はない。また、時間割編成上の都合により平成21年度開講しない科目については、隔年開講等により学生の履修機会を確保しているほか、平成21年度中も履修希望者がある場合には開講可能であるため、問題はない。  
なお、上記科目を未開講としたことについては、平成21年度シラバスにより学生に周知済みである。  
科目の廃止については新規授業科目の開講に伴うものであり問題はなく、平成21年度シラバスにより学生に周知している。  
以上のとおり、上記授業科目の未開講及び廃止については、何ら問題はない。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{75}{245} = 0.30 \text{ (21)}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ]内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）  
3 「(3) 未開講科目」は、配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
4 「(4) 廃止科目」は、設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 員 年次 人	収定 容員 人	学位又 は称号	定員 超過率 倍	開 設 年 度	所 在 地	
文学部					学士(文学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.07	平成16年度		
歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
教育学部					学士(教育学)	1.08		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1000	学士(学術)	1.09	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.04	昭和53年度		
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度		平成18年度から学生募集停止
法学部					学士(法学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.20	平成16年度		
法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部					学士(経済学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.07	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.14	平成16年度		
経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
理学部					学士(理学)	1.15		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.26	昭和24年度		
物理学科	4	35	—	140		1.14	昭和24年度		
化学科	4	30	—	120		1.18	昭和24年度		
生物学科	4	30	—	120		1.15	昭和24年度		
地球科学科	4	25	—	100		1.18	平成7年度		
			3年次20	40		0.92			
医学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	105	—	580	学士(医学)	1.00	昭和24年度		平成21年度から定員増 95→105
			3年次5	20	学士(看護学)	1.15			平成13年度から編入の学生募集
保健学科	4				学士(保健学)				学生募集は平成11年度から
看護学専攻		80	—	320	学士(学術)	1.04	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)
			3年次10	20		0.85			
放射線技術科学専攻		40	—	160		1.07	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			
検査技術科学専攻		40	—	160		1.04	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
歯学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	55	— 3年次5	330 20	学士(歯学)	1.01 1.00	昭和55年度		
薬学部					学士(薬学)	1.06		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	160	学士(創薬科学)	1.06	平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.05	平成18年度		
総合薬学科	—	—	—	—		—	平成11年度		平成18年度から学生募集停止
工学部					学士(工学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械工学科	4	80	—	320	学士(学術)	1.10	昭和62年度		
物質応用化学科	4	60	—	240		1.08	平成12年度		
電気電子工学科	4	60	—	240		1.17	昭和62年度		
情報工学科	4	60	—	240		1.04	昭和62年度		
生物機能工学科	4	80	—	320		1.05	平成8年度		
システム工学科	4	80	—	320		1.10	平成8年度		
通信ネットワーク工学科	4	40	— 3年次30	160 60		1.17 1.16	平成12年度		
環境理工学部					学士(環境理工学)	1.14		岡山市北区津島中三丁目1番1号	学生募集は平成7年度から
環境数理学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.17	平成6年度		
環境デザイン工学科	4	50	—	200		1.18	平成6年度		
環境管理工学科	4	40	—	160		1.12	平成6年度		
環境物質工学科	4	40	—	160		1.11	平成6年度		
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学) 学士(学術)	1.14	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学研究科 教科教育学専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
53	25	78	0	47	29	76	0	
( 52 )	( 29 )	( 81 )	( 0 )	[ Δ6 ]	[ 4 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。

(記入例：1名減の場合：Δ1)

## 5 その他全般的事項

<教育学研究科 教科教育学専攻>

情報提供に関する事項

### ① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 4月 15日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai_j.html#6)

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 7月 17日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai_j.html#6)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

# 事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：研究科の専攻設置

岡山大学大学院教育学研究科 教育臨床心理学専攻（修士課程）

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岡山大学  
平成21年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 企画係長・近 <sup>コン</sup> <sup>ドウ</sup> <sup>カズ</sup> <sup>ヒコ</sup>  
藤 一 彦

電話番号 086-251-8416

（夜間） 086-251-8416

F A X 086-251-7294

e-mail kondou-k@adm.okayama-u.ac.jp

# 目 次

1	調査対象大学院の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	7
4	教員組織の状況	9
5	その他全般的事項	10

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 岡山大学

## (2) 大学名

岡山大学

## (3) 大学の位置

〒700-8530  
岡山県岡山市北区津島中三丁目1番1号  
(岡山県岡山市北区津島中一丁目1番1号)

(注) 『(3) 大学の位置』は、対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) 1 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 2 様式は, 平成19年度開設の博士後期課程の場合(平成21年度までの3年間)ですが, 開設年度に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)  
 3 定員を変更した場合は, 備考欄に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
教育学研究科 教育臨床心理学専攻(修士課程) 修士(教育学)	2 年	8 人	16 人	基礎となる学部名等  教育学部

(注) 「備考」欄に基礎となる学部等の名称を記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	( - ) 8	( - ) 8	人	1.00 倍	
志願者数	( 17 ) 26	( 5 ) 32			
受験者数	( 15 ) 24	( 5 ) 28			
合格者数	( 4 ) 9	( 0 ) 10			
B 入学者数	( 3 ) 8	( 0 ) 8			
入学定員超過率 B/A	( - ) 1.00	( - ) 1.00			

(注) 1 ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 「平均入学定員超過率」欄には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成20年度	平成21年度	備 考
1年次	[ 0 ] 8	[ 0 ] 9		
2年次	[ - ] -	[ 0 ] 7		
計	[ 0 ] 8	[ 0 ] 16		

(注) 1 [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 8	[ 0% ] 0%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 8人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [ 0 ] 0	計 [ 0 ] 16	[ 0% ] 0%
	うち平成19年度入学者 — 人	うち平成19年度 — 人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 8人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 8人	
(主な退学理由)			

(注)1 [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

2 「入学者数に対する退学者数等の割合」欄は、各対象年度における退学者等の数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

3 「主な理由」欄は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。

- ・就学意欲の低下    ・学力不足    ・他の教育機関への入学・転学    ・海外留学
- ・就職    ・学生個人の心身に関する事情    ・家庭の事情    ・除籍    ・その他

## 2 授業科目の概要

<教育学研究科 教育臨床心理学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基礎科目	学校教育の理念と今日的課題	1前 2前	2			1	+	1			H21年度より担当を准教授から講師に変更(21)
専門基礎科目	臨床心理学特論Ⅰ	1前 2前	2			1					H20.4.1教授採用(21)
	臨床心理面接特論Ⅰ	1前 2前	2				1				教育内容充実のため、20年度から専任教員を配置(21)
	臨床心理査定演習Ⅰ	1前 2前	2				+	1			准教授任用予定のところ、講師を採用したため(21)
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1前 2前	1			1		1			教育内容充実のため、専任教員を配置(21)
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1後 2後	1			1		1			教育内容充実のため、専任教員を配置(21)
	臨床心理応用実習Ⅰ	1前 2前	1			3 +	1	1			教育内容充実のため、教員を追加(21)
	臨床心理応用実習Ⅱ	1後 2後	1			3 +	1	1			教育内容充実のため、教員を追加(21)
専門科目	臨床心理学特論Ⅱ	1後 2後		2		1					
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後 2後		2		1					
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後 2後		2			1				
	臨床心理応用実習Ⅲ	1通 2通		1		1	1	1			教育内容充実のため、教員を追加(21)
	心理学研究法特論Ⅰ 心理学研究法Ⅰ	1前 2前		2		3 -	1	1			教育内容充実のため教員を追加、21年度から科目名称変更(21)
	心理学研究法特論Ⅱ 心理学研究法Ⅱ	1後 2後		2		3 -	1	1			教育内容充実のため教員を追加、21年度から科目名称変更(21)
	臨床心理学研究法特論	未開講 1+2		2							時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	青年心理学特論Ⅰ	1前 2前		2							
	青年心理学特論Ⅱ 人格心理学特論	未開講 1+2		2							20年度から科目名称変更 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	児童心理学特論Ⅰ	未開講 1+2		2							教育内容充実のため21年度から科目追加 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	児童心理学特論Ⅱ	1前 2前		2							教育内容充実のため21年度から科目追加(21)
	発達心理学特論 発達臨床心理学特論	1前 2前		2							21年度から科目名称変更(21)
	教育評価法特論Ⅰ	未開講 1+2		2							時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	教育評価法特論Ⅱ	1前 2前		2							教育内容充実のため21年度から科目追加(21)
学習心理学特論Ⅰ	1前 2前		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	学習心理学特論Ⅱ	未開講 1→2		2								教育内容充実のため21年度から科目追加 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21) 予定を変更し、20年度から別科目開講(21) 予定を変更し、20年度から別科目開講(21) 21年度から科目名称変更(21)  時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)  誤記のため訂正(21) 教育内容充実のため科目追加(21) 教育内容充実のため20年度から科目追加 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21) 教育内容充実のため20年度から科目追加(21) 教育内容充実のため科目追加(21) 教育内容充実のため科目追加 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21) 20年度より教育内容充実のため科目追加、21年度より科目名変更(21) 20年度より教育内容充実のため科目追加、21年度より科目名変更 時間割編成上の都合によりH21年度は未開講(21)
	教師の職能成長とコーチング			2								
	スクールリーダーと組織開発			2								
	精神医学特論 精神医学	1前 2前 1後		2								
	健康心理学特論	1前 2後		2			1					
	学校カウンセリング特論Ⅰ	1前 2前		2		1						
	学校カウンセリング特論Ⅱ	未開講 1→2		2		1						
	喪失と悲嘆の心理臨床学	1前 2前		2		1						
	グループカウンセリングアプローチ特論	1前 2前		2								
	表現療法特論	1前 2前		2				1				
	教育社会心理学特論	未開講 1→2		2								
	特別支援病理学特論	1前 2前		2								
	パーソナリティ特論	1前 2後		2		1						
	人間関係特論	未開講 1→2		2		1						
	対人社会心理学 心理学Ⅲ	1前 2前		2								
	社会的認知 心理学Ⅳ	未開講 1→2		2								
課題研究	課題研究	1通 2通	4			4	1 2	1			准教授任用予定のところ、講師を採用したため(21)	

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	20		29	9	29		38	増9(追加11, 廃止2)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	臨床心理学研究法特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
2	青年心理学特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
3	児童心理学特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
4	教育評価法特論Ⅰ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
5	学習心理学特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
6	学校カウンセリング特論Ⅱ	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
7	教育社会心理学特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
8	人間関係特論	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講
9	社会的認知	2	1・2	専門	選択	時間割編成上の都合によりH21年度は未開講

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	教師の職能成長とコーチング	2	1・2	専門	選択	新規授業科目の開講に伴う廃止のため
2	スクールリーダーと組織開発	2	1・2	専門	選択	新規授業科目の開講に伴う廃止のため

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講授業科目は全て選択科目であり，他の選択科目で代替可能である。  
 時間割編成上の都合により平成21年度開講しない科目については，隔年開講等により学生の履修機会を確保しているほか，平成21年度中も履修希望者がある場合には開講可能であるため，問題はない。  
 なお，上記科目を未開講としたことについては，平成21年度シラバスにより学生に周知済みである。  
 科目の廃止については新規授業科目の開講に伴うものであり問題はなく，平成21年度シラバスにより学生に周知している。  
 以上のとおり，上記授業科目の未開講及び廃止については，何ら問題はない。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{11}{29} = \boxed{0.37 (21)}$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は，事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。  
 2 「(2) 授業科目数」は，未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，[ ] 内に設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）  
 3 「(3) 未開講科目」は，配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 4 「(4) 廃止科目」は，設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」」欄には，授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。  
 6 「(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は，小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

### 3 既設大学等の状況

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員 人	編入学 員 年次 人	収定 容員 人	学位又 は称号	定員 超過率 倍	開 設 年 度	所 在 地	
文学部					学士(文学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
人文学科	4	175	—	700		1.07	平成16年度		
歴史文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
言語文化学科	—	—	—	—		—	平成7年度		平成16年度から学生募集停止
教育学部					学士(教育学)	1.08		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
学校教育教員養成課程	4	250	—	1000	学士(学術)	1.09	平成11年度		
養護教諭養成課程	4	30	—	120		1.04	昭和53年度		
総合教育課程	—	—	—	—		—	平成元年度		平成18年度から学生募集停止
法学部					学士(法学)	1.07		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
法学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.06	平成16年度		
夜間主コース	4	20	—	80		1.20	平成16年度		
法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
法学部第二部法学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部					学士(経済学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
経済学科					学士(学術)				
昼間コース	4	205	—	820		1.07	平成16年度		
夜間主コース	4	40	—	160		1.14	平成16年度		
経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
経済学部第二部経済学科	—	—	—	—		—	昭和55年度		平成16年度から学生募集停止
理学部					学士(理学)	1.15		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
数学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.26	昭和24年度		
物理学科	4	35	—	140		1.14	昭和24年度		
化学科	4	30	—	120		1.18	昭和24年度		
生物学科	4	30	—	120		1.15	昭和24年度		
地球科学科	4	25	—	100		1.18	平成7年度		
			3年次20	40		0.92			
医学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
医学科	6	105	—	580	学士(医学)	1.00	昭和24年度		平成21年度から定員増 95→105
			3年次5	20	学士(看護学)	1.15			平成13年度から編入の学生募集
保健学科	4				学士(保健学)				学生募集は平成11年度から
看護学専攻		80	—	320	学士(学術)	1.04	平成10年度		(医療技術短期大学部を廃止して設置)
			3年次10	20		0.85			
放射線技術科学専攻		40	—	160		1.07	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			
検査技術科学専攻		40	—	160		1.04	平成10年度		
			3年次5	10		0.80			

大学の名称	岡山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
歯学部						1.01		岡山市北区鹿田町二丁目5番1号	
歯学科	6	55	— 3年次5	330 20	学士(歯学)	1.01 1.00	昭和55年度		
薬学部					学士(薬学)	1.06		岡山市北区津島中一丁目1番1号	
薬学科	6	40	—	160	学士(創薬科学)	1.06	平成18年度		
創薬科学科	4	40	—	160		1.05	平成18年度		
総合薬学科	—	—	—	—		—	平成11年度		平成18年度から学生募集停止
工学部					学士(工学)	1.09		岡山市北区津島中三丁目1番1号	
機械工学科	4	80	—	320	学士(学術)	1.10	昭和62年度		
物質応用化学科	4	60	—	240		1.08	平成12年度		
電気電子工学科	4	60	—	240		1.17	昭和62年度		
情報工学科	4	60	—	240		1.04	昭和62年度		
生物機能工学科	4	80	—	320		1.05	平成8年度		
システム工学科	4	80	—	320		1.10	平成8年度		
通信ネットワーク工学科	4	40	— 3年次30	160 60		1.17 1.16	平成12年度		
環境理工学部					学士(環境理工学)	1.14		岡山市北区津島中三丁目1番1号	学生募集は平成7年度から
環境数理学科	4	20	—	80	学士(学術)	1.17	平成6年度		
環境デザイン工学科	4	50	—	200		1.18	平成6年度		
環境管理工学科	4	40	—	160		1.12	平成6年度		
環境物質工学科	4	40	—	160		1.11	平成6年度		
農学部 総合農業科学科	4	120	—	480	学士(農学) 学士(学術)	1.14	昭和61年度	岡山市北区津島中一丁目1番1号	

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

#### 4 教員組織の状況

<教育学研究科 教育臨床心理学専攻>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
5	1	6	0	5	1	6	0	
( 5 )	( 1 )	( 6 )	( 0 )	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

「教員数」の「設置時の計画」欄には、完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成21年5月1日現在(就任年月に達していない者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。

(記入例：1名減の場合：△1)

## 5 その他全般的事項

<教育学研究科 教育臨床心理学専攻>

情報提供に関する事項

### ① 設置計画書等

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成20年 4月 15日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画書等」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai_j.html#6)

### ② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (  有 ・ 無 )
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 平成21年 7月 17日 )  
\* 個人情報に関する部分は除外
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (  承諾する ・ 承諾しない )
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai\\_j.html#6](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/lohokoukai_j.html#6)

(注) 「情報提供に関する事項」の「①」について、現在は未公表であり、今後公表を予定している場合、公表後の取扱いについて記入してください。

また、「①」又は「②」の「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「②」について、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secci@mext.go.jp](mailto:d-secci@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。